

若松公民館だより

〒264-0021 千葉市若葉区若松町2117番地の2 電話 043-231-7991
本紙は若松中、小倉小、若松小、若松台小、第32地区町内自治会に配布しています。

若松公民館の館長としての勤務が2年目を迎えました。よろしくお願いいたします。当館では、今年度も小・中・高校生や特別支援学校、親子や成人、シルバー世代の方など、幅広い世代が参加できる講座を計画しています。その中からいくつかご紹介させていただきたいと思います。まず、中・高校生を対象として、講師に大学の先生をお招きした「**体幹トレーニング基礎講座**」を予定しています。2年連続コロナの関係で実施できなかったため、感染の状況次第ではオンラインなどの工夫をして開催したいと考えています。次に、例年実施している小中学生と保護者を対象とした**坂月川愛好会との連携講座**につきましては、昨年度「第3回ちば講座アワード」で優良賞を受賞しました。次世代へ継承するリーダーの育成を目指し、地域の豊かな自然環境を守る意識をはぐくむためにも今後も継続していきたい講座です。また、4月から毎月1回継続して行う「**フレイル予防講座**」は、3月に行った「フレイル予防の基礎知識～お話と運動～」を発展させた内容となっています。これ以外にも、皆様の興味・関心、ニーズに応じた講座を計画していますので、「市政だより」や「公民館情報誌」、当館発行の「公民館だより」やチラシをご覧ください。ご参加ください。

さて、接触を伴うダンスや調理などコロナ感染による活動の制限や、利用者の高齢化に伴うサークル活動の衰退がどこの公民館でも悩みの一つになります。当館では新たなサークルの創設を目指して昨年度「**お菓子作り教室**」を開催し、無事にサークルとして活動を始めています。今年度は「**ハーブ教室**」を企画し、こちらもサークルの創設を目標とした講座です。

最後になりますが、昨年度は作品の展示だけ行った文化祭ですが、若松公民館クラブ等連絡協議会の皆さまと話し合い、何ができるのかを見極めてサークル活動の励みとなるような文化祭が開催できればと考えています。また、本館には図書室も併設されています。地域に根差した社会教育施設として、皆様のご利用をお待ちいたしています。



若松公民館長 伊藤 直樹

★★★★★

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、ご協力ください。

- 1、各部屋の定員は通常の半数以下です。
- 2、自宅で体温を測る等、健康チェックを行ってください。
- 3、3密を避けることを心がけてください。

クラブ等連絡協議会の代表者会 開かれる

4月14日と28日に、各サークルの代表者が集まり、昨年度の事業・予算報告、今後の方針について話し合われました。また、長い間公民館を通じて地域力の向上に努められて



新旧理事がそろって写真撮影をしました。
お名前は、館内に掲示しています。

当会は若松公民館を利用するサークルの有志からなる仲間間で公民館運営のサポートや地域に貢献することを目的としています。

きた理事の方々の退任が発表され、引継ぎ式が行われました。

前・会長 中谷 きよ様

2代目会長として30年以上にわたり地域の発展に尽力されました。「皆様に支えられ努めることができました。感謝申し上げます。新しい体制になりましたが、ぜひ地域の中の公民館として地域の発展に貢献していただきたいと願います。」

前・副会長 腰越 眞一郎様

舵取り役として文化祭の運営に関わるとともに、園芸同好会の代表として、年間を通じて館の美化に尽力されました。

前・庶務 高橋 武勇様

各方面への調整や資料作りに尽力されました。また、若葉区運営審議会の委員として、会議等に出席いただき、社会教育の発展に貢献いただきました。

新・会長 林 大雄様（太極拳同好会）

「わからないこともたくさんありますので、先輩方からアドバイスをもらい、また皆様にもご協力いただきながら進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。」

2024月の公民館講座報告

コロナに負けない学ぶ意欲

2月3日に郷土博物館の天野良介館長をお招きし、「千葉氏Q & A」を開催しました。大河ドラマの話題をおりませたユーモアたっぷりの講話に笑い声が上がりました。2月13日の「ハーブを楽しむ」種類・育て方・活用」は、市外の方からの応募も多数あり、関心の高さを感じさせられました。参加者からは、「ハーブを育ててみたい」という意欲的な感想が集まりました。『フレイル予防の基礎知識』とお話と運動』（3月3日）にも定員16人を上回る応募がありました。フレイルとは健康と要介護の



フレイル講座の講師は、あんしんケアセンター都賀の職員さんです。当館周辺地域を担当されており、困ったときに顔が思い浮かぶことは心強いことでしょう。

中間の虚弱状態を意味する造語です。参加された方々は若々しく、今現在大きな悩みを抱えている様子は見られませんでした。が、「いつまでも元気でいたい」と前向きな声が聞こえました。若松公民館では定番となった千葉市観光協会所属ボランティアガイドの広瀬正一さんによる歴史講座（3月13日）は、『お茶の水・君待橋・羽衣伝説の謎』というタイトルに惹かれて応募された方も多かったことでしょう。市内3つの史跡に残る伝説を文献をもとに解説しました。3月12日には、4月から開催した連続講座の受講生が発足したお菓子作りサークル（スイーツの会 会員6人）が、体験会を開催しました。中学生の参加者に、つい手をかけすぎた場面も見られました。が、約半年にわたる学習の成果を披露しました。

「個」の力を地域の力へ持ち込み企画第3弾「里山サイクリング入門」(4

月16日)は『千葉市里山サイクリングマップ』作成協力者の渡辺榮一さんが企画した講座です。県立佐原病院長の露口利夫さんをはじめ4人の方が、サイクリングの魅力と医学的效果について解説しました。若松公民館では、市民の力を市民に還元する仕組み作りに積極的に取り組んでいます。本講座は、前述の広瀬正一さんによる歴史講座に続くモデルケースとなる内容でした。

公民館に癒しの場が

誕生「ハーブ教室」

三十数年にわたり当館の美化・環境整備に尽力された園芸同好



令和4年度 公民館職員一覧

公民館の運営が、千葉市教育委員会から、(公財)千葉市教育振興財団に移行し、5年目となります。親しみやすい公民館づくりに努力してまいります。

館長 伊藤 直樹
正 規 苫米地 直樹 (主に図書室関係)
契 約 中村 愛 (主に主催行事関係)
非常勤職員 小松 悦子 (事務)

高橋 真知 (図書室)
齋藤 好賢 (図書室)
遠藤 令子 (図書室)
蓑輪 裕美 (図書室) ★新任
夜 間 管 理 (17時～21時)
星 茂/大友 ヤチヨ (清掃も兼務)

会が解散したことは前号でお伝えしましたが、その思いを引き継ぐ形で、4月から「ハーブ教室」(全6回)を開催しています。4月に種まきをし、5月は定植を行いました。成長過程をぜひ一緒に見守ってください。

クラブ等連絡協議会の前理事の皆様におかれましては、長い間「地域作り、仲間づくり」に力を貸してくださり、深く感謝を申し上げます。自分事として、地域活動に率先して取り組んでいる姿を間近に拝見しました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。(中村)